

セメンテックスVF - ウルトラ

超低収縮・軽量・速硬一材型ポリマーセメントモルタル 3 ~ 50 mm

はじめに セメンテックスVF - ウルトラは、アクリル系粉末ポリマーを使用したブレミックスモルタルで、水を加えて練混ぜるだけで超低収縮のポリマーセメントモルタルとして使用できます。

作業性に優れるため、上向きの施工部位でも厚付けが可能です。また速硬性のため工期短縮や緊急補修工事に最適です。

特長

1. 超低収縮性で材齢28日で0.02%以下の収縮率
2. 速硬性タイプで施工後3時間で10N / mm²程度の圧縮強度発現
3. 1工程・最大施工厚50mmまで可能（欠損部）

用途

- ・ 鉄道、道路、水路、コンクリート覆工などの断面修復、欠損補修
- ・ 各種コンクリート構造物の断面修復、欠損補修
- ・ 内外壁の大断面欠損部における厚付け充填補修
- ・ 目違い、段差などの不陸調整
- ・ 最大施工厚：平面部40mm程度、平面欠損部50mm程度、天井欠損部30mm程度

標準配合

1袋当りの標準配合水

セメンテックスVF-ウルトラ	清水
10kg	1.75~2.0ℓ

備考)練混ぜ水量は、施工時の気温・施工方法により調整して下さい。

1m³当りの標準配合水

セメンテックスVF-ウルトラ	清水
1,600kg(160袋)	280~320ℓ

荷姿 10kg 防湿紙袋入り

オバナヤ・セメンテックス株式会社

東京：〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-6香取ビル	TEL:03-3663-7641	FAX:03-3661-0496
名古屋：〒467-0067 名古屋市瑞穂区石田町1-48	TEL:052-851-9361	FAX:052-851-9450
大阪：〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-26天神第一ビル	TEL:06-6305-0371	FAX:06-6305-0372
工場：〒511-0432 三重県いなべ市北勢町東村1339	TEL:0594-72-3414	FAX:0594-72-3485

標準使用量

施工厚	粉体使用量 (m ² 当り)
10 mm	16 kg
30 mm	48 kg
50 mm	80 kg

基本物性

試験項目	試験結果	規格値	試験方法	
固化時間	1時間	断面修復材の固化時間は1時間以上であること	東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社 構造物施工管理要項「左官工法による断面修復の性能照査項目」	
断面修復材の外観 (塗装無し)	均一で、われ、はがれ、ふくれがない	断面修復材は均一で、われ、はがれ、ふくれのないこと		
硬化収縮性	硬化収縮率: 0.02% 硬化に伴う発熱により反りかえりを認めない	断面修復材の硬化収縮率は0.05%以下であること硬化に伴う発熱により反りかえりがいないこと		
熱膨張性 (/)	1.6 × 10 ⁻⁵	断面修復材の熱膨張係数は2.0 × 10 ⁻⁵ / 以下であること		
コンクリートとの付着性 (N / mm ²)	湿潤時	1.8		コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N / mm ² 以上であること
	耐アルカリ性試験後	1.6		
	温冷繰り返し試験後	1.7		
塗装塗膜との付着性 (N / mm ²)	1.2	塗膜と断面修復材との付着強度は1.0N / mm ² 以上であること		
圧縮強さ (N / mm ²)	35.8	補修設計で定めた設計基準強度以上であること		

規格適合

- ・ NEXCO 断面修復材 (左官工法) 品質規格準拠
- ・ 東日本旅客鉄道 断面修復材規格準拠

**使用上の
注意事項**

気温3℃以下での施工は避けてください。

混練りは容器に規定量の清水を入れ、半分の5kgを十分に攪拌しモルタルが柔らかくなってから残りを徐々に入れ、3分以上十分に攪拌して下さい。(プロペラ型3枚羽根不可、門型羽根・攪拌回転数600回転程度のハンドミキサー推奨)

練り混ぜた材料は、40分以内に使用して下さい。

下地の吸い込みが大きい場合には、プライマー材を併用して下さい。

直射日光、雨掛かりを避け、湿気の少ない場所で保管して下さい。本商品はアルカリ性を示しますので、皮膚に触れたりした場合、直ちに水で洗い流して下さい。

本商品の安全取り扱い上の詳しい注意事項が必要なときは、安全データシート(SDS)をご請求下さい。

製品改良のため予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承下さい。